

さいたま新都心に一番近い学校



下落合小だより

令和6年2月号
令和6年2月1日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子 shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp



「広げよう！あいさつの輪！！みんなスマイル あいさつウィーク」

校長 馬場 広美

2月4日は、二十四節気の立春。暦の上では春ということになります。前日の2月3日は「季節を分ける」という意味で「節分」です。この節分の日には豆まきをされる御家庭も多いと思います。もともとは、季節の変わり目には邪気（鬼）が生じるという意味で、鬼をはらうために豆まきが始まり、「豆（穀物）には生命力と魔除けの力が備わっていて、鬼に豆をぶつけて邪気を追い払い、1年の無病息災を願う。」そうです。

1月20日（土）の学校公開には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの授業の様子を参観していただきました。今回は、時間を指定せず、保護者の方がご都合に合わせた時間に参観できるようにしました。混雑を心配しましたが、保護者の皆様にマナーを守って参観していただき、無事に終了できました。

さて、先日お配りしました「下落合小学校学校運営協議会だより」（R6.1.26）でもお知らせしましたが、来週2月5日（月）～2月9日（金）に、学校・家庭・地域が一緒になり、「あいさつ運動」を行います。児童が登校する時間帯に、家の中、家の前、通学路など可能な場所で、児童とあいさつを交わすようにしてください。この期間、正門では、児童会代表委員が与野東中学校の生徒会役員と一緒にあいさつ運動を行います。皆様の御協力をお願いいたします。



そこで、「あいさつの大切さについて」改めて考えていきたいと思います。一つ目は、「あいさつすることは、人としての一つの基本である」ということです。「あいさつもろくにできない」という言葉があるように、あいさつは常識ある社会人かどうかを判断する一つの材料になっているともいえます。だからこそ、子どもの頃から自然にあいさつができる力を身に付けてほしいと思います。二つ目は、「あいさつは、する方もされる方も気持ちがいい」ということです。お互いにあいさつを交わしていやな気分になったということはほとんどないと思います。「おはよう」とあいさつするだけで、気持ちよく1日を始めることができるのです。三つ目は、「人と人との関係がよくなる」ということです。「挨拶」の「挨」は「自分の心を開く」、「拶」は「相手の心に近づく」という意味があるそうです。つまりあいさつをすることは「自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく」ということになります。いつでも、どこでも、場に応じた気持ちのよいあいさつができる、そんな人に成長してほしいです。

今年度もあと2か月となりました。進級・進学への準備としてのこの時期、子どもたちの成長を後押しできるよう、学校と御家庭の一層の連携をよろしくお願いいたします。